



は さ み ち よ う  
**波佐見町食生活改善推進協議会**

～ 地域で支えあう健康づくり ～

【受賞者の概要】

**波佐見町食生活改善推進協議会**

- ・所在地: 東彼杵郡波佐見町宿郷660  
(波佐見町健康推進課内)
- ・創立時期: 昭和58年
- ・会員数: 104名



【受賞時の活動・現在の活動】

波佐見町において、「郷土料理の伝承と啓発、生活習慣病の予防と改善、若年層との食育交流」に力を入れた活動を実施。

子育て支援・高校生を対象とした健康づくり講習会、町民のみなさんへの生活習慣病予防や改善の呼びかけ、健康診断受診の勧めなど、関係機関等との連携により活動を行うことで、子どもから高齢者まで幅広い対象者の意識向上につながっています。



【これまでの食育活動を通して思うこと】

地域が安全・安心な生活を送るためには、「食と健康」は欠かせないと実感しています。

食育を通して人と人がつながり合い、地域の絆が強まるのが大切だと思います。

【今後の展望(これからの夢)】

これからも、一つひとつの活動を、みんなで協力し笑いあいながら、楽しく実施したいです。



もりやま  
**農事組合法人 守山女性部加工組合**

～ 希少な伝統野菜で故郷の味を伝え続ける ～

【受賞者の概要】

**農事組合法人 守山女性部加工組合**

- ・所在地: 雲仙市吾妻町古城名47-1
- ・創立時期: 昭和62年
- ・会員数: 6名



【受賞時の活動・現在の活動】

絶滅に瀕していた地元特産の「雲仙こぶ高菜」の再生に尽力。平成17年に味の箱舟(アルカ)に認定、平成20年には日本初となるプレシディオに認定。雲仙こぶ高菜の加工・販路開拓を通して、ふるさとの味とおふくろの味を受け継ぎ次世代へ伝承していくため、小学校のゲストティーチャーやグリーンツーリズム体験、女性大学の料理教室など、幅広い年齢層を対象とした食の安心安全・食育活動に取り組んでいます。世界的にも希少な郷土の伝統野菜の大切さの認識を通して、食に対する理解を深め、食べることの重要性を伝え続けています。

※プレシディオとは: スローフードインターナショナルが世界的に見ても希少で、地域活性化につながっていくものをプレシディオと認定しています。

(ラテン語で「守る」、イタリア語では「砦」の意味)

受賞後は、市内小中学校でゲストティーチャーとしての活動が増え、国内外からの体験視察を受け入れるなど、活動はさらに広がっています。



【これまでの食育活動を通して思うこと】

希少な伝統野菜2種を使い、「食の循環が『愛』」をテーマに、素材を活かした故郷の味創りを継承していきたいです。

【今後の展望(これからの夢)】

未来ある子どもたちへ、故郷の味を伝え続けたいです。

平成28年度  
受賞

しまばらしもりたけ  
島原市森岳婦人会

～「梅干づくり」による日本の食文化継承～

【受賞者の概要】

島原市森岳婦人会

- ・所在地: 島原市城西中の丁2055
- ・創立時期: 昭和22年
- ・会員数: 287名



【受賞時の活動・現在の活動】

日本の伝統的な食文化の継承という目的のもと、島原市立第一小学校と一体となって、児童とその保護者ととともに島原城の梅林になった梅の実を収穫し、梅干に加工するまでの一連の体験活動を実施。梅干ができたあがった後には、子ども達が保護者や婦人会会員を招待する「梅干しの会」という試食会も開催し、皆で笑ったり感動したりしながら地域の交流の場になっています。

平成17年から毎年行ってきたこの活動は、婦人会と児童やその保護者との取組というだけでなく、老人会や島原城職員など地域の人達を含めた地域活動ともなっています。



【これまでの食育活動を通して思うこと】

「梅干づくり」に参加した若いお母さん方から「自分達で作った梅干は添加物も入ってなくて美味しい。来年からは、家でも子ども達と作ってみたい。」という声が毎年聞かれます。

子ども達や、若い人達へ、日本の古き良き食文化を伝えられたと実感しています。

【今後の展望(これからの夢)】

今年で13年を迎え、島原城の梅のある限り次から次へと会員に、児童、若いお母さん方に日本の宝の梅干し漬けを伝えていきたいと思っています。